読書のススメ

読書のメリットって何？

本好きな子って？

気になるあなたに読書が子どもの幸せにつながるわけを解説します！

入間市教育委員会
家庭教育応援通信
２０２５年５月

こんにちは　こちらは入間市教育委員会です

この家庭教育応援通信では
子育てに必要な情報を
皆様にお伝えしていきます。
今回は、読書について
考えてみました。

入間市マスコットキャラクター
「いるティー」

全国に定着した10分読書

授業前の10分間、生徒と教師が一斉に本を読む「朝の読書」。1988年に千葉県で始められた取組です。広がるにつれて、その効果が全国学力テストの結果に現れるなどして、今や全国の学校で日常的な活動になっています。

読書は学力だけでなく、心の豊かさも育むと言います。読書のメリットとは、どのようなものなのでしょうか。

読書のメリット

よくいわれる読書のメリット

☆読解力や語い力（言葉の知識）が伸びる

☆集中力や論理的な思考力が養われる

☆想像力が豊かになる

☆コミュニケーション能力が向上する

☆ものごとの捉え方が柔軟になる

☆物語の主人公の成功の追体験ができる

☆読解力や語い力（言葉の知識）が伸びる

　子どもは、まだ知らない表現が出てきても、前後の関係から推測します。繰り返し同じような場面に出会うことで言葉のイメージをつかみ、読解力が伸びるのです。

　また、多くの言葉や漢字に触れることで、語い力と言われる言葉の力を身につけていきます。

☆集中力や論理的な思考力が養われる

　面白いお話は、子どもを没頭させます。子どもは、結末に向けて一心に読み続けます。

　また、本の中では、それぞれの出来事がつながりを持って語られます。自然に筋道立てて考えることが習慣になり、論理的な思考力が養われます。

☆想像力が豊かになる

本の世界を通して、自分では体験できない出来事に触れることができます。

しかし、文字そのものが持つ情報量は少なく、脳はそれを想像力で補うことになります。

映像や音がないという読書の特性が、想像力を養うのに適しているのです。

☆コミュニケーション能力が向上する

　さまざまな人物の感情や思惑に触れることで、他人の気持ちを推測することができるようになります。

　現実世界で、相手の気持ちを思いやることができるようになり、人とのコミュニケーションスキルが向上します。

☆ものごとの捉え方が柔軟になる

　本の中で、自分の回りにはいない人物像を知ることができて、視野を広げる効果があります。

　異なる環境で生まれ育った人たちの育ちの背景に触れることは、人を見るときの観点を増やします。

　ものごとの捉え方が柔軟になって、ひいては、多様な文化の理解につながります。

☆物語の主人公の成功の追体験ができる

　読書によって実際に体験していないことも、ある程度追体験することができます。追体験とは、他人の体験に自分を重ねて自分のことのように感じる体験です。

　その人物になりきることで、先人たちの成功のノウハウと失敗しないためのアドバイスを自分のものにできるのです。

読書に親しむには

　でも、子どもには、文字ばかりの本はとっつきにくいものに感じるでしょう。

　こんな話があります。
　読み聞かせをしている父と子。字ばかりで面白くないと子が言います。

　父「目を閉じて頭の中に絵を描いてごらん」

　子「あ、すごくいいね！」

　文字から本の世界を「思い描いてみる」経験が必要です。

本離れしやすい環境の中で

子どもたちは、今、ゲームであったり、動画であったり、常に自分が好きなものをすぐに見ることができる環境にあります。

さらに、それらを設計する人は、子どもたちが釘付けになる仕掛けを日々研究しているのです。

そんな子どもたちを本に結びつけるためには、ちょっとした工夫や努力が必要です。

本好きな子って？

本が好きな子は、なぜそうなったのか。

幼児期の読み聞かせが大事とも言いますが、人はいつでも本が好きになります。特に、次のようなケースでは本好きな子になりやすいようです。

📖本を読むことは勉強やノルマではない。

📖本が空気のようにありふれたもの。

📖図書館に行くことが楽しみ。

📖家族が本を読む習慣を持っている。

本を読むことは勉強やノルマではない

おとなが勧めた本でも、子どもにとって「強制」となったら、逆に本から離れてしまいます。

実は、読書の前に必要なのは、子どもの興味を大事にすることです。

よく東大生が「親から勉強しなさいと言われたことがない」と言いますが、一緒に不思議がる人がいると、より知りたくなって調べたり、自然に本を読むようになるのです。

本が空気のようにありふれたもの

家の中に本があって、自然に手に取ることができるといいですね。

絵本でもよいので、書店の陳列のように並べたり、ラックに見やすいように置いておく。

このとき、本は子どもの年齢にあったものにしましょう。

推奨年齢か、それより幼いものでいいしょう。

図書館に行くことが楽しみ

本好きな人は、好きな本を好きな時に読みたいと言います。好きな本はどうしたら見つかるでしょうか。

図書館に行くことです。さらに専門家のアドバイスをもらえば、お気に入りにいつか出会うことができるでしょう。はじめは、帰りにアイスが食べられるから楽しい、
でもいいのでは。

家族が本を読む習慣を持っている

本好きにする最も大きな要因は、家族が本を読んでいる姿です。本を読むことは、楽しくて、人生が豊かになることだと、その背中から感じるのです。

子どものために本を読みましょう、というのではありません。本は楽しいから読むんです。悲しみに打ちひしがれ、勇気に感動し、そんな本の世界に没頭する幸せ！！

自分の人生の主人公に

多くの人が、ＳＮＳなどの環境の影響を受け、周りの世界に振り回され、心を削られています。

本の中では、数えきれないほどの人間と人間関係が描かれます。自分とは違う世界があることを理解すると、それまで自分がいかにこだわり、とらわれていたかに気づくことができます。

そういう考え方もあるかと思えば、心を鎮めて、本来の自分を取り戻せるのです。大事なのは自分の人生の主人公になることです。

本による寄り添い

テレビや動画配信サイトは、視覚的な理解度は高くても、目の前の子どもに合わせて声をかけることはありません。

本は、読む人が自分の経験に照らし合わせて読み解いていきます。前にもどって読み返したり、自分の理解を確かめながら進みます。

本人に寄り添うという意味で、おとなの役割を本が補ってくれるのではないでしょうか。

今回は、
読書について考えてみました。
少しでも皆様の学びのヒントになれば幸いです。
興味を覚えた方は
さらに調べてみてはいかがですか。

本通信の今後の向上のため、下記のURLをクリックしてアンケートにご協力ください

↓こちらをクリック

https://forms.gle/RCLKPLeGFe2DScjn8

（アドレス等の個人情報は収集されません）

ありがとうございました

入間市マスコットキャラクター
「いるティー」